

夕刊 磐城新聞

行發日二十二月十 定額一月五元 半年十元 全年二十元

秋のカクリ舎點景

池上富司

見る見る、増加した患者... 秋の夜がながき通... 虫の聲...

愚庵遺稿

島田忠夫 録

富田の里の菜の花を見て... 旅中雨... 芳野に行く事の時...

女長兵衛

東京新報 魚崎潮吉

お蝶の長兵衛が九八の事... 女長兵衛は... 女長兵衛は...



女長兵衛の挿絵

括弧微笑... 寄贈書目... 消息... 女長兵衛の挿絵... 女長兵衛の挿絵...

かまぼこ 御用は藤寅へ 御用折詰仕出し 御物案内 迅速 藤寅

カギ貝 御料理 傳賣出し カキフライ 金廿五銭 ガキライス 金全金 ガキなべ 金四十銭

新築落成御披露 一般顧客各位様の御需めに... 益子屋食堂 電話六〇八番

吉田眼科病院 平町紺屋町 更科そば 江戸前

高久病院 内科 小児科 外科 花柳病科

井阪醫院 産科 婦人科 花柳病科

良品廉賣に勝る 商略なし 磐城セメント特約代理店 釜屋商店

鈴木醫院 耳鼻咽喉科 外科

鐵道納炭に前期から依然漸増の好調を迎へ

但採暖用の註文關係から差當り樂觀材料にはならず

去る十一月より一昨二十日に於ける常磐炭山元發送高は

營業用三、六五九車四二、九四八噸 鐵道省用一、三六六車一九、三二六噸 合計五、〇二五車六一、二七四噸

前年同期に比し營業用八十車二千二百九十三噸を減少して居るが省用に於ては反對に二百二十四車六百八十四噸を増加してゐるの合計に於ては僅らしくも車數に於て四十四車増し數量に於て僅らしくも九噸を減少したるに過ぎず、鐵道關係は前期より引續き漸増の好調を示し永らくの閑淡縮し切つてゐる地方炭界に於ては一面の活氣を深はせてゐるが右は需要が増加したのでは無く鐵道當局の石炭購入が從來七月頃より冬期燃料の幾分を包含されたのが今年に限り需要期直前に於て一時に購入した結果らしく被末未だ地方炭界の前途を樂觀する材料にならぬと観測されてゐる

鎌田鐵橋の延長は愈々近く實現か

湯本、泉間の分と共に 昨日日本局長師が調査

平町鎌田地先の夏井川鐵橋村の鐵道沿岸に仲間町附近は鐵道工事の昨今甚だ進む事となるので此石炭と共に地方の主要産業となつてゐる漁業は最近の期に際しては濁流の吞吐圓通水せしめる必要に迫られ滑ならずその結果比較的低つた外湯本、泉間原因を重要視されて居るが最近の調査によつて鎌田鐵橋の延長は漸く實現の途程に進んで居るものと観測されてゐる

磐中四百の健兒

秋の山野に跳躍する

廿三、四兩日の發火演習

愛し女を見失ひ

零丁の身を郷に運ぶ

規約を潜る

横着な炭屋退治

規約を潜る

横着な炭屋退治

規約を潜る

横着な炭屋退治

高女生動態

本月一日現在に於ける磐城高女今春卒業生の概況は進歩官八、就職四、其の他一、六八であるが其の外の同輩の半途退學者は家事都合一年七、二年一〇、三年四、四年三、五年二、六年一、七年一、八年一、計一八、死亡又は病氣による者二年二、三年二、四年一、計五、轉學者一年四、二年七、三年一、四年三、五年二、六年一、七年一、八年一、計一八、計一五合計四十四名で學年別にすると一年一、二年一、三年一、四年一、五年一、六年一、七年一、八年一、計一八

庭球

聯合庭球 四十チームが廿五日で會戦

入山對磐炭

磐陽野球決勝

運動會

一、廿三日開催

入山對磐炭

磐陽野球決勝

兒童唱歌會は來月十四日小學兒童の虫虫其他の有無第三校で開催される筈であらば調査は清水校長によつてが十八日に延期された此の程大體終了したので明廿三日頃全校兒童に蟲虫を服用せしむる

特賣 ヒコーキ材料 毛糸、ヌイ糸 小供自轉車 教育玩具、裝飾品、縫糸毛糸諸雜貨

森下商店 平町一丁目

フクロクストーブ フクロクストーブの優點、石炭省費、理想的なストーブ、立場ヨリ多年研究の結果

阿部石炭商店 電話二三七番

安齊外科醫院 看護婦募集

お醤油は 山崎合名會社

上田醫院 入院隨意、外科、小兒科、眼科、皮膚科、泌尿科